

- ✓ 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組に加えて、流域に関わる関係者が、主体的に取り組む社会を構築する必要。
- ✓ 「流域治水」の考え方にに基づき、**堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者※で水災害対策を推進。** ※国・都道府県・市町村・企業・住民等

「流域治水」への転換

- ・ あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により、地域の特性に応じ、①～③に示す対策を総合的かつ多層的に推進し、「流域治水」へ転換

◀これらの取組を円滑に進めるため、河川関連法制の見直しなど必要な施策を速やかに措置▶

① 氾濫をできるだけ防ぐ

集水域

ためる、しりこませる

【国・市、企業、住民】
雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用
※グリーンインフラ関係施策と併せて推進

グリーンインフラの活用

自然環境が有する多様な機能を活用し、雨水の貯留・浸透を促進



雨庭の整備（京都市）

河川区域

ためる

【国・県・市、利水者】
治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し水害対策に活用

【国・県・市】
遊水地等の整備・活用

安全に流す

【国・県・市】
河床掘削、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

【国・県】「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等





③ 被害の軽減・早期復旧・復興

氾濫域

土地のリスク情報の充実

【国・県】水災害リスク情報の空白地帯解消等

避難体制を強化する

【国・県・市】河川水位等の長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

【企業、住民】工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫

【企業、住民】不動産取引時の水害リスク情報提供、金融の活用等

支援体制を充実する

【国・企業】官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する

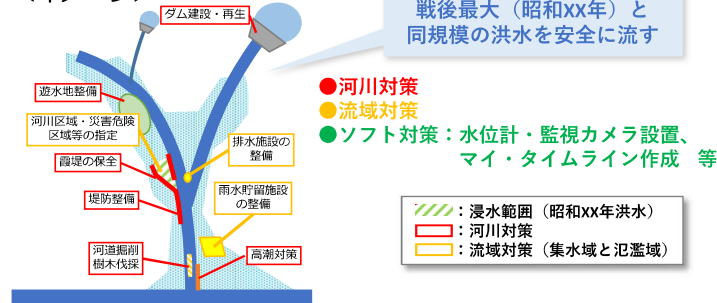
【国・県・市等】排水門等の整備、排水強化

流域治水プロジェクト

- ・ 令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の1級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ・ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容※等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、早急に実施すべき流域治水プロジェクトを策定 **◀令和2年度中に策定▶**

※現行計画では、国管理河川で約7兆円の事業を実施中

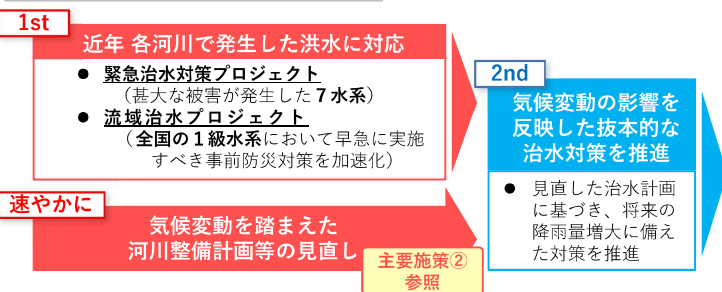
＜イメージ＞



利水ダムの治水活用

- ・ 全国の1級水系（ダムがある99水系）毎に事前放流等を含む治水協定を締結し、新たな運用を開始 **◀令和2年出水期から▶**
- ・ 2級水系についても同様の取組を順次展開

今後の水害対策の進め方



〔〕：想定される対策実施主体 県：都道府県 市：市町村

「流域治水プロジェクト」の策定・公表スケジュール

幹事会6月3日(済)



協議会8月12日(本日)



策定・公表8月(予定)

	水系名(県管理:二級河川)	関連市町村(市町村管理:準用河川)
①	屋部川水系(屋部川、西屋部川)	名護市
②	比謝川水系(比謝川、与那原川)	沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町
③	小波津川水系(小波津川)	西原町
④	国場川水系(国場川、饒波川、長堂川)	那覇市、糸満市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、八重瀬町 南風原町(安里又川、手登根川、宮平川、長堂川)

幹事会11月(予定)



協議会1月(予定)



策定・公表3月(予定)

	水系名(県管理:二級河川)	関連市町村(市町村管理:準用河川)
⑤	満名川水系(満名川)	本部町(伊野波川)
⑥	我部祖河川水系(我部祖河川)	名護市
⑦	大保川水系(大保川)	大宜味村
⑧	億首川水系(億首川、幸地川)	恩納村、金武町
⑨	天願川水系(天願川、川崎川)	沖縄市、うるま市(ヌーリ川、川崎川、米原川)
⑩	白比川水系(白比川)	北谷町
⑪	安謝川水系(安謝川)	那覇市、浦添市
⑫	安里川水系(潮渡川、久茂地川、真嘉比川、安里川)	那覇市、南風原町
⑬	報得川水系(報得川)	糸満市、南城市、八重瀬町
⑭	謝名堂川水系(謝名堂川)	久米島町
⑮	田原川水系(田原川)	与那国町